

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ 世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)」は、2019年4月15日に第48期の決算を行いました。ここに作成期中(第43期から第48期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2025年4月15日まで	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資を通じて、主として世界の先進国および新興国の公社債等に実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。 トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。 実質外貨建資産について、原則として、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
主要運用対象	インベスコ世界高利回り債券ファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」および「インベスコ マネーパール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ世界高利回り債券マザーファンド	別に定める投資信託証券※へ投資し、主として世界の先進国および新興国の公社債等に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券(米ドル建て)です。
	インベスコマネーパール・ファンド(適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券(マザーファンド受益証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



インベスコ 世界高利回り債券ファンド

<為替ヘッジあり>(毎月決算型)

愛称：ザ・インカム

追加型投信/内外/債券

運用報告書 (全体版)

第43期 (決算日 2018年11月15日)

第44期 (決算日 2018年12月17日)

第45期 (決算日 2019年1月15日)

第46期 (決算日 2019年2月15日)

第47期 (決算日 2019年3月15日)

第48期 (決算日 2019年4月15日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 期 中 率	期 騰 落	中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
19期(2016年11月15日)	9,186	60	△1.5	10,527	△2.5	102.0	12
20期(2016年12月15日)	9,258	60	1.4	10,780	2.4	101.0	12
21期(2017年1月16日)	9,267	60	0.7	10,928	1.4	96.1	12
22期(2017年2月15日)	9,287	60	0.9	11,044	1.1	97.0	12
23期(2017年3月15日)	9,163	60	△0.7	10,957	△0.8	98.8	12
24期(2017年4月17日)	9,181	60	0.9	11,144	1.7	92.4	12
25期(2017年5月15日)	9,202	60	0.9	11,262	1.1	98.9	12
26期(2017年6月15日)	9,177	60	0.4	11,343	0.7	95.5	12
27期(2017年7月18日)	9,100	60	△0.2	11,339	△0.0	97.7	12
28期(2017年8月15日)	9,039	60	△0.0	11,372	0.3	97.3	12
29期(2017年9月15日)	9,073	60	1.0	11,478	0.9	97.9	12
30期(2017年10月16日)	9,046	60	0.4	11,541	0.6	97.2	12
31期(2017年11月15日)	8,900	60	△1.0	11,429	△1.0	98.2	12
32期(2017年12月15日)	8,885	60	0.5	11,515	0.8	99.2	12
33期(2018年1月15日)	8,868	60	0.5	11,588	0.6	97.8	12
34期(2018年2月15日)	8,609	60	△2.2	11,355	△2.0	96.8	12
35期(2018年3月15日)	8,572	60	0.3	11,426	0.6	97.5	12
36期(2018年4月16日)	8,514	60	0.0	11,467	0.4	98.6	12
37期(2018年5月15日)	8,330	60	△1.5	11,331	△1.2	99.5	12
38期(2018年6月15日)	8,227	30	△0.9	11,286	△0.4	99.1	11
39期(2018年7月17日)	8,155	30	△0.5	11,287	0.0	100.1	11
40期(2018年8月15日)	8,102	30	△0.3	11,240	△0.4	98.8	11
41期(2018年9月18日)	8,106	30	0.4	11,299	0.5	99.4	11
42期(2018年10月15日)	8,068	30	△0.1	11,277	△0.2	97.5	11
43期(2018年11月15日)	7,991	30	△0.6	11,165	△1.0	99.0	11
44期(2018年12月17日)	7,875	30	△1.1	11,081	△0.7	99.3	11
45期(2019年1月15日)	7,882	30	0.5	11,181	0.9	97.5	11
46期(2019年2月15日)	8,004	30	1.9	11,433	2.2	99.7	12
47期(2019年3月15日)	8,024	30	0.6	11,545	1.0	99.4	12
48期(2019年4月15日)	8,078	30	1.0	11,668	1.1	99.5	12

(注) 基準価額および分配金は1万円当たりです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数を掲載しています。参考指数は、設定日(2015年5月1日)から2016年7月末までは合成指数(JPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース)の騰落率、Barclays Capital US High Yield 2% Issuer Cap (円ヘッジ・ベース)の騰落率を、それぞれ50%の配分で合成した指数)、2016年8月以降はBloomberg Barclays Global High Yield Index (円ヘッジ・ベース)です。当該参考指数は、基準日前営業日の指数値を用い、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。以下同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		参 考 指 数	騰 落 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第43期	(期首) 2018年10月15日	円 8,068	% -		11,277	% -	% 97.5
	10月末	8,032	△0.4		11,185	△0.8	97.1
	(期末) 2018年11月15日	8,021	△0.6		11,165	△1.0	99.0
第44期	(期首) 2018年11月15日	7,991	-		11,165	-	99.0
	11月末	7,890	△1.3		11,064	△0.9	98.5
	(期末) 2018年12月17日	7,905	△1.1		11,081	△0.7	99.3
第45期	(期首) 2018年12月17日	7,875	-		11,081	-	99.3
	12月末	7,724	△1.9		10,909	△1.6	96.9
	(期末) 2019年1月15日	7,912	0.5		11,181	0.9	97.5
第46期	(期首) 2019年1月15日	7,882	-		11,181	-	97.5
	1月末	7,948	0.8		11,318	1.2	98.8
	(期末) 2019年2月15日	8,034	1.9		11,433	2.2	99.7
第47期	(期首) 2019年2月15日	8,004	-		11,433	-	99.7
	2月末	8,053	0.6		11,531	0.9	98.9
	(期末) 2019年3月15日	8,054	0.6		11,545	1.0	99.4
第48期	(期首) 2019年3月15日	8,024	-		11,545	-	99.4
	3月末	8,043	0.2		11,564	0.2	98.4
	(期末) 2019年4月15日	8,108	1.0		11,668	1.1	99.5

(注) 基準価額は1万円当たりです。

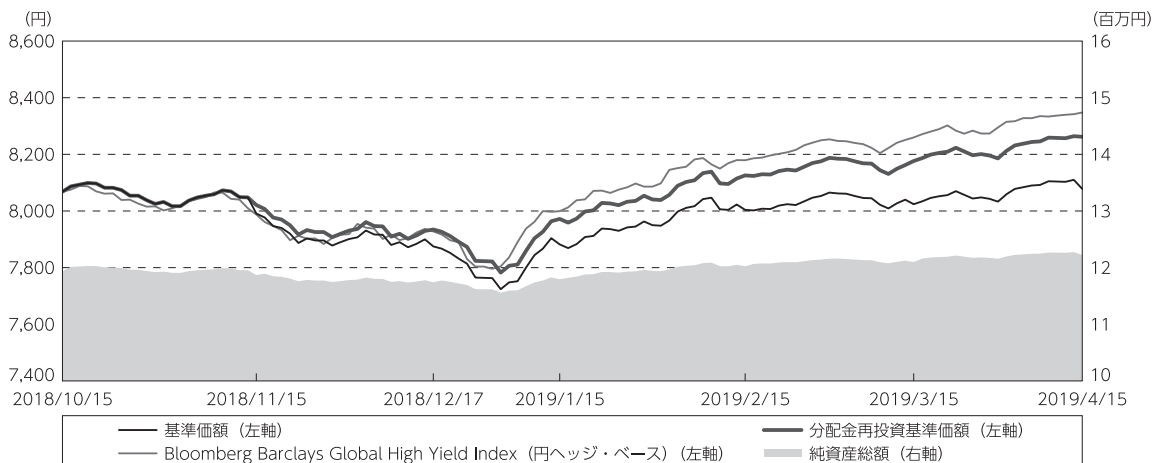
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年10月16日～2019年4月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびBloomberg Barclays Global High Yield Index (円ヘッジ・ベース)は、作成期首(2018年10月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) Bloomberg Barclays Global High Yield Index (円ヘッジ・ベース)は、参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 世界のハイ・イールド債券および新興国公社債を実質的な投資対象としているため、保有する債券からの高水準のインカムゲイン(利息収入)が、基準価額の上昇要因となりました。
- ①米中貿易摩擦への警戒感、②世界景気の減速懸念、③米連邦準備理事会(FRB)のハト派姿勢(金融緩和を选好)への転換—などから米国金利が低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・作成期初から2018年12月末にかけて、ハイ・イールド債券市場などで債券価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、米ドルと円の金利差によるヘッジコストが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

高利回り債券 (Bloomberg Barclays Global High Yield Index (米ドルベース)) +4.3%
 米国10年国債 2.56% (前作成期末 3.16%) 米ドル/円 112円01銭 (同 112円03銭)

※高利回り債券の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米国10年国債、米ドル/円は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは低下しました。①米国と中国間での貿易問題に対する警戒感、②米国や欧州などの経済成長見通しの下方修正、③FRBのハト派姿勢への転換—などが、利回りの低下要因となりました。

米国10年国債利回りの推移を見ると、作成期初は良好な景気見通しやFRBの利上げ選好姿勢などを受け、上昇する場面も見られましたが、長引く米中の貿易戦争や英国の欧州連合 (EU) からの離脱 (ブレグジット) 問題などの地政学リスクを背景に世界経済の減速懸念が台頭、投資家のリスク選好姿勢が後退した結果、債券買いが進みました。さらに、2019年に入りFRBがハト派姿勢に転換し、3月の米連邦公開市場委員会 (FOMC) では年内の利上げ休止の見通しが示されたことや、買い入れ資産縮小の9月終了が表明されたことなどを受け、米国金利は一段と低下しました。

世界のハイ・イールド債券や新興国公社債市場では、世界景気の減速懸念や米中の貿易戦争などの根強い地政学リスクへの警戒感、また株式市場の価格変動性 (ボラティリティ) の上昇などを受けて投資家心理が悪化、信用スプレッドの拡大が進みました。

<為替市場>

当作成期間中、米ドルは対円でほぼ変わらずとなりました。①世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が進んだこと、②米国金利の低下により日米の金利差縮小が継続するとの見通し—などが、円高/米ドル安の要因となった一方で、2019年に入ると、③米中通商協議への期待感、④株式市場の上昇、⑤雇用統計といった良好な米国の経済指標—などが円安/米ドル高の要因となり、作成期を通じてみるとほぼ変わらずとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド（以下、マザーファンドといたします。）を高位に組み入れ、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといたします。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）に投資を行いました。同外国投資信託では、主として、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。具体的には、先進国社債の組入比率を高位としました。信用格付けではBB格、B格を中心に投資しました。国別配分では、米国、ルクセンブルグ、ブラジルの組み入れを高位としました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+2.4%となり、参考指数であるBloomberg Barclays Global High Yield Index（円ヘッジ・ベース）の騰落率+3.5%を下回る結果となりました。

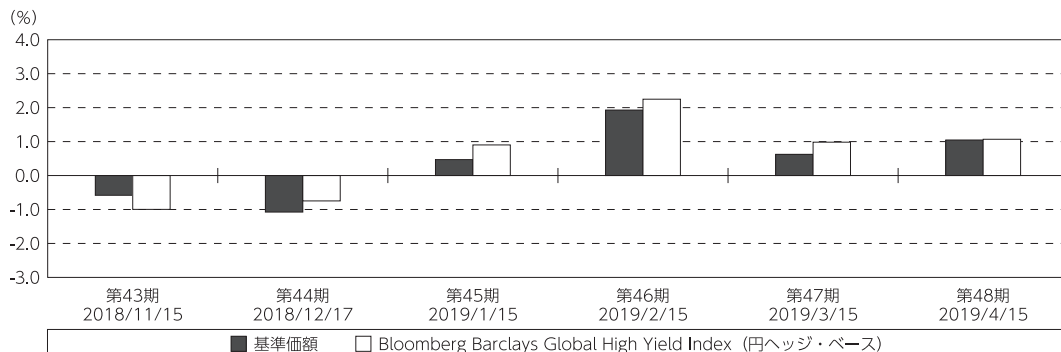
[プラス要因]

- ・ハイ・イールド債券における通信（有線）、油田施設サービス、環境セクターの個別銘柄選択がプラスに寄与しました。
- ・新興国公社債におけるブラジル、トルコなどの組入銘柄がプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

- ・ハイ・イールド債券におけるテクノロジー、独立エネルギー、ヘルスケアセクターの個別銘柄選択がマイナスに影響しました。
- ・新興国公社債における中国、ジャマイカ、ベネズエラなどの組入銘柄がマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) Bloomberg Barclays Global High Yield Index (円ヘッジ・ベース)は、参考指数です。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第43期から第48期まで1万口当たり30円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日	2019年3月16日～ 2019年4月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.374%	30 0.380%	30 0.379%	30 0.373%	30 0.372%	30 0.370%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	30	30	30	30	30	30
翌期繰越分配対象額	9,223	9,193	9,163	9,133	9,274	9,244

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券(米ドル建て)に投資を行います。同外国投資信託では、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。具体的には、高水準のインカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得により、中長期で安定した収益の獲得に努めていきます。流動性を重視しながら組入銘柄の見直しを行い、短期的な調整局面では、割安と判断した優良銘柄を厳選し、投資します。信用格付け別では、B B格からB格中心の運用を継続します。業種別では、信用スプレッドの拡大・縮小の局面に応じて、より大きなメリットを受けるセクターを見極め、配分を決定していきます。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月16日～2019年4月15日)

項 目	第43期～第48期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	36	0.447	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.404)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.071	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.017)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(3)	(0.036)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	42	0.518	
作成期間の平均基準価額は、7,948円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(親投資信託を除く)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月16日～2019年4月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第43期～第48期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	千口 749	千円 754	千口 710	千円 732

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月16日～2019年4月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年4月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第42期末		第48期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
インベスコ	マネーパール・ファンド(適格機関投資家私募投信)		50		50	49	0.4
	合 計		50		50	49	0.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価金額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘	柄	第42期末		第48期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
インベスコ	世界高利回り債券 マザーファンド		11,496		11,535	12,301

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年4月15日現在)

項 目	第48期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	49	0.4
インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド	12,301	99.2
コール・ローン等、その他	55	0.4
投資信託財産総額	12,405	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産 (36,478千円) の投資信託財産総額 (37,082千円) に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
	2018年11月15日現在	2018年12月17日現在	2019年1月15日現在	2019年2月15日現在	2019年3月15日現在	2019年4月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	23,312,017	23,152,054	22,705,337	23,707,351	23,930,713	24,122,751
投資信託受益証券(評価額)	49,870	49,865	49,860	49,860	49,855	49,850
インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド(評価額)	11,926,485	11,851,265	11,813,984	12,104,971	12,190,277	12,301,475
未収入金	11,335,662	11,250,924	10,841,493	11,552,520	11,690,581	11,771,426
(B) 負債	11,442,097	11,411,419	10,910,439	11,683,169	11,832,547	11,897,335
未払金	11,387,368	11,356,244	10,856,252	11,627,941	11,778,020	11,841,584
未払収益分配金	44,560	44,724	44,894	45,065	45,234	45,403
未払解約金	—	97	—	—	—	—
未払信託報酬	9,101	9,257	8,304	9,095	8,315	9,253
その他未払費用	1,068	1,097	989	1,068	978	1,095
(C) 純資産総額(A-B)	11,869,920	11,740,635	11,794,898	12,024,182	12,098,166	12,225,416
元本	14,853,401	14,908,003	14,964,687	15,021,827	15,078,142	15,134,527
次期繰越損益金	△ 2,983,481	△ 3,167,368	△ 3,169,789	△ 2,997,645	△ 2,979,976	△ 2,909,111
(D) 受益権総口数	14,853,401口	14,908,003口	14,964,687口	15,021,827口	15,078,142口	15,134,527口
1万円当たり基準価額(C/D)	7,991円	7,875円	7,882円	8,004円	8,024円	8,078円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注) 当ファンドの第43期首元本額は14,798,364円、第43～48期中追加設定元本額は337,579円、第43～48期中一部解約元本額は1,416円です。

(注) 2019年4月15日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,909,111円です。

○損益の状況

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日	2019年2月16日～ 2019年3月15日	2019年3月16日～ 2019年4月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 59,302	△ 117,834	63,813	239,475	83,437	137,758
売買益	186,694	95,854	487,747	495,634	338,778	262,778
売買損	△ 245,996	△ 213,688	△ 423,934	△ 256,159	△ 255,341	△ 125,020
(B) 信託報酬等	△ 10,169	△ 10,354	△ 9,293	△ 10,163	△ 9,293	△ 10,348
(C) 当期損益金 (A+B)	△ 69,471	△ 128,188	54,520	229,312	74,144	127,410
(D) 前期繰越損益金	△ 107,820	△ 177,276	△ 305,462	△ 250,942	△ 21,630	52,514
(E) 追加信託差損益金	△ 2,761,630	△ 2,817,180	△ 2,873,953	△ 2,930,950	△ 2,987,256	△ 3,043,632
(配当等相当額)	(679,016)	(685,948)	(693,435)	(700,899)	(707,264)	(714,327)
(売買損益相当額)	(△ 3,440,646)	(△ 3,503,128)	(△ 3,567,388)	(△ 3,631,849)	(△ 3,694,520)	(△ 3,757,959)
(F) 計 (C+D+E)	△ 2,938,921	△ 3,122,644	△ 3,124,895	△ 2,952,580	△ 2,934,742	△ 2,863,708
(G) 収益分配金	△ 44,560	△ 44,724	△ 44,894	△ 45,065	△ 45,234	△ 45,403
次期繰越損益金 (F+G)	△ 2,983,481	△ 3,167,368	△ 3,169,789	△ 2,997,645	△ 2,979,976	△ 2,909,111
追加信託差損益金	△ 2,806,190	△ 2,861,904	△ 2,918,847	△ 2,976,015	△ 3,032,490	△ 3,089,035
(配当等相当額)	(634,456)	(641,224)	(648,541)	(655,834)	(662,030)	(668,924)
(売買損益相当額)	(△ 3,440,646)	(△ 3,503,128)	(△ 3,567,388)	(△ 3,631,849)	(△ 3,694,520)	(△ 3,757,959)
分配準備積立金	13,065,243	13,064,108	13,064,004	13,064,004	13,322,326	13,322,326
繰越損益金	△13,242,534	△13,369,572	△13,314,946	△13,085,634	△13,269,812	△13,142,402

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。

	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(A) 配当等収益 (費用控除後)	0円	0円	0円	0円	258,322円	0円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	679,016	685,948	693,435	700,899	707,264	714,327
(D) 分配準備積立金	13,065,243	13,064,108	13,064,004	13,064,004	13,064,004	13,322,326
分配可能額 (A+B+C+D)	13,744,259	13,750,056	13,757,439	13,764,903	14,029,590	14,036,653
(1万口当たり分配可能額)	(9,253)	(9,223)	(9,193)	(9,163)	(9,304)	(9,274)
収益分配金	44,560	44,724	44,894	45,065	45,234	45,403
(1万口当たり収益分配金)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)

○分配金のお知らせ

	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
1万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

○約款変更のお知らせ

- ・付表に規定する「別に定める投資信託証券」の削除および「別に定める日」にかかる記載を変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。(2019年1月10日)



運用報告書

第8期

決算日 2019年4月15日

(計算期間：2018年10月16日から2019年4月15日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none">・別に定める投資信託証券への投資を通じて、主として世界の先進国および新興国の公社債等を実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。・実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	別に定める投資信託証券※ ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券(米ドル建て)です。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		投資信託 組入比	純総 資産額
	円	騰落率	10,235	7.6		
4期(2017年4月17日)	9,700	7.0	10,235	7.6	98.2	34
5期(2017年10月16日)	10,402	7.2	11,239	9.8	97.3	38
6期(2018年4月16日)	9,936	△4.5	10,880	△3.2	97.3	36
7期(2018年10月15日)	10,218	2.8	11,125	2.2	98.7	36
8期(2019年4月15日)	10,664	4.4	11,610	4.4	98.5	37

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数を掲載しています。参考指数は、設定日(2015年5月1日)から2016年7月末までは合成指数(JPMorgan EMBI Global Diversified(円換算ベース)の騰落率、Barclays Capital US High Yield 2% Issuer Cap(円換算ベース)の騰落率を、それぞれ50%の配分で合成した指数)、2016年8月以降はBloomberg Barclays Global High Yield Index(円換算ベース)です。当該参考指数は、基準日前営業日の米ドルベースの各指数に、基準日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場仲値)を乗じて円換算し、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託 組入比
	円	騰落率	11,125	騰落率	
(期首) 2018年10月15日	10,218	—	11,125	—	98.7
10月末	10,295	0.8	11,131	0.1	97.5
11月末	10,195	△0.2	11,056	△0.6	98.1
12月末	9,845	△3.7	10,687	△3.9	97.9
2019年1月末	10,029	△1.8	10,919	△1.8	98.0
2月末	10,399	1.8	11,336	1.9	97.8
3月末	10,467	2.4	11,378	2.3	98.3
(期末) 2019年4月15日	10,664	4.4	11,610	4.4	98.5

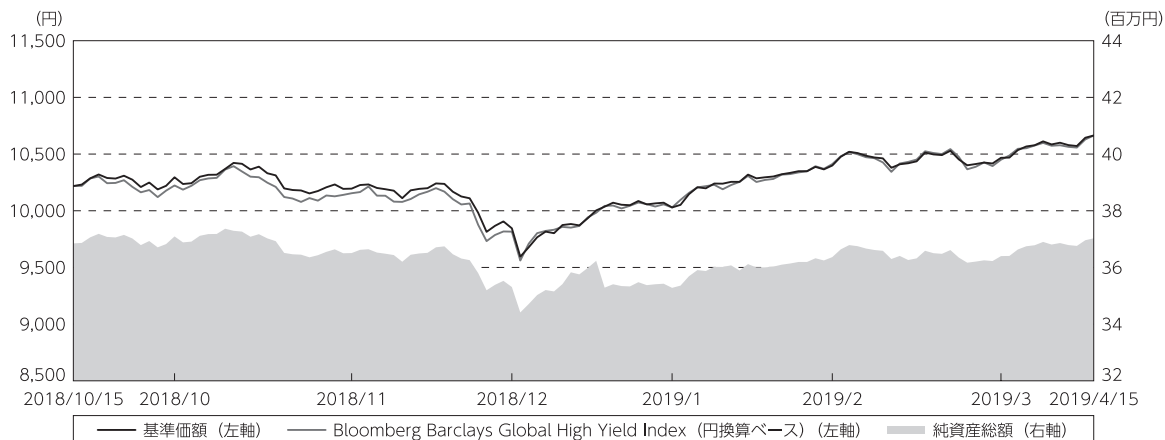
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年10月16日～2019年4月15日)



期首：10,218円

期末：10,664円

騰落率： 4.4%

(注) Bloomberg Barclays Global High Yield Index (円換算ベース) は、期首 (2018年10月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) Bloomberg Barclays Global High Yield Index (円換算ベース) は、参考指数です。

○基準価額の変動要因

[上昇要因]

- ・世界のハイ・イールド債券および新興国公社債を実質的な投資対象としているため、保有する債券からの高水準のインカムゲイン (利息収入) が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・①米中貿易摩擦への警戒感、②世界景気の減速懸念、③米連邦準備理事会 (FRB) のハト派姿勢 (金融緩和を選好) への転換—などから米国金利が低下 (債券価格は上昇) したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・期初から2018年12月末頃にかけて、米中貿易摩擦や欧州の政局不安などを背景に、投資家のリスク回避の動きが強まったことを受け、実質的に保有している債券の価格が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

高利回り債券 (Bloomberg Barclays Global High Yield Index (米ドルベース)) +4.3%
 米国10年国債 2.56% (前期末 3.16%) 米ドル/円 112円01銭 (同 112円03銭)

※高利回り債券の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米国10年国債、米ドル/円は当期末の数値です。

<債券市場>

当期中、米国10年国債利回りは低下しました。①米国と中国間での貿易問題に対する警戒感、②米国や欧州などの経済成長見通しの下方修正、③FRBのハト派姿勢への転換—などが、利回りの低下要因となりました。

米国10年国債利回りの推移を見ると、期初は良好な景気見通しやFRBの利上げ選好姿勢などを受け、上昇する場面も見られましたが、長引く米中の貿易戦争や英国の欧州連合 (EU) からの離脱 (ブレグジット) 問題などの地政学リスクを背景に世界経済の減速懸念が台頭、投資家のリスク選好姿勢が後退した結果、債券買いが進みました。さらに、2019年に入りFRBがハト派姿勢に転換し、3月の米連邦公開市場委員会 (FOMC) では年内の利上げ休止の見通しが示されたことや、買入れ資産縮小の9月終了が表明されたことなどを受け、米国金利は一段と低下しました。

世界のハイ・イールド債券や新興国公社債市場では、世界景気の減速懸念や米中の貿易戦争などの根強い地政学リスクへの警戒感、また株式市場の価格変動性 (ボラティリティ) の上昇などを受けて投資家心理が悪化、信用スプレッドの拡大が進みました。

<為替市場>

当期中、米ドルは対円でほぼ変わらずとなりました。①世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が進んだこと、②米国金利の低下により日米の金利差縮小が継続するとの見通し—などが、円高/米ドル安の要因となった一方で、2019年に入ると、③米中通商協議への期待感、④株式市場の上昇、⑤雇用統計といった良好な米国の経済指標—などが円安/米ドル高の要因となり、期を通じてみるとほぼ変わらずとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券 (米ドル建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。具体的には、先進国社債の組入比率を高位としました。信用格付けではBB格、B格を中心に投資しました。国別配分では、米国、ルクセンブルグ、ブラジルの組み入れを高位としました。

実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+4.4%となり、参考指数であるBloomberg Barclays Global High Yield Index (円換算ベース)の騰落率+4.4%と同水準となりました。

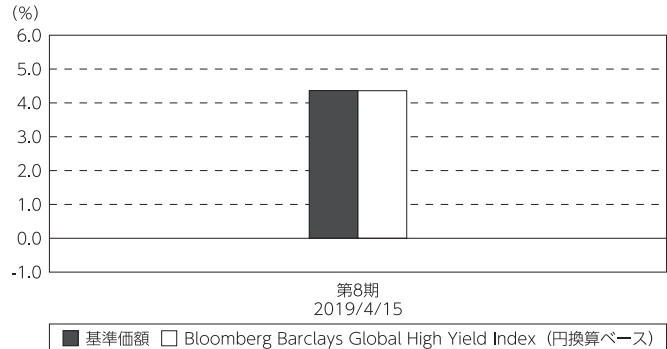
[プラス要因]

- ・ハイ・イールド債券における通信（有線）、油田施設サービス、環境セクターの個別銘柄選択がプラスに寄与しました。
- ・新興国公社債におけるブラジル、トルコなどの組入銘柄がプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

- ・ハイ・イールド債券におけるテクノロジー、独立エネルギー、ヘルスケアセクターの個別銘柄選択がマイナスに影響しました。
- ・新興国公社債における中国、ジャマイカ、ベネズエラなどの組入銘柄がマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) Bloomberg Barclays Global High Yield Index (円換算ベース)は、参考指数です。

○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）に投資を行います。同外国投資信託では、世界のハイ・イールド債券および新興国公社債に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。具体的には、高水準のインカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得により、中長期で安定した収益の獲得に努めていきます。流動性を重視しながら組入銘柄の見直しを行い、短期的な調整局面では、割安と判断した優良銘柄を厳選し、投資します。信用格付け別では、B B格からB格中心の運用を継続します。業種別では、信用スプレッドの拡大・縮小の局面に応じて、より大きなメリットを受けるセクターを見極め、配分を決定していきます。

実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わない方針です。

○当ファンドのデータ

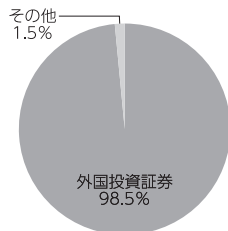
(2019年4月15日現在)

【組入上位ファンド】

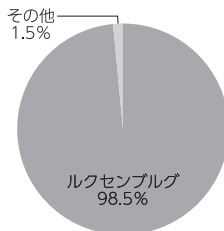
銘柄名	第8期末
インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD	98.5%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

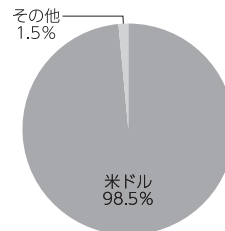
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月16日～2019年4月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.018	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、10,205円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月16日～2019年4月15日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SI	0.594	7	1	13

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月16日～2019年4月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年4月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	%
インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド クラスC-SD	26	26	325	36,478	98.5
合 計	口 数 ・ 金 額	26	325	36,478	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 98.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数および評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2019年4月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 36,478	% 98.4
コール・ローン等、その他	604	1.6
投資信託財産総額	37,082	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(36,478千円)の投資信託財産総額(37,082千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.01円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	37,082,064	
コール・ローン等	603,842	
投資証券(評価額)	36,478,222	
(B) 負債	54,074	
未払解約金	54,069	
未払利息	1	
その他未払費用	4	
(C) 純資産総額(A-B)	37,027,990	
元本	34,722,784	
次期繰越損益金	2,305,206	
(D) 受益権総口数	34,722,784口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,664円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	36,060,792円
期中追加設定元本額	1,644,676円
期中一部解約元本額	2,982,684円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ 世界高利回り債券ファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型)	23,187,267円
インベスコ 世界高利回り債券ファンド <為替ヘッジあり> (毎月決算型)	11,535,517円
合計	34,722,784円

○損益の状況 (2018年10月16日～2019年4月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	803,517	
受取配当金	803,764	
受取利息	40	
支払利息	△ 287	
(B) 有価証券売買損益	751,397	
売買益	779,040	
売買損	△ 27,643	
(C) 保管費用等	△ 6,641	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,548,273	
(E) 前期繰越損益金	787,153	
(F) 追加信託差損益金	24,793	
(G) 解約差損益金	△ 55,013	
(H) 計(D+E+F+G)	2,305,206	
次期繰越損益金(H)	2,305,206	

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 保管費用等とは、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

- ・付表に規定する「別に定める投資信託証券」を削除するため、信託約款に所要の変更を行いました。(2019年1月10日)

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド

「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

当ファンドは、「インベスコ 世界高利回り債券 マザーファンド」が投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-SD投資信託証券（米ドル建て）です。

なお、当ファンドは、インベスコ・グループが運営するアイルランド籍ファンドとルクセンブルグ籍ファンドの統合に伴い、「アイルランド籍外国投資信託 インベスコ・グローバル・ハイ・インカム・ファンド」が2018年10月5日付で統合され運用を開始したものです。当ファンドの統合後の初回決算は2019年2月28日ですが、2019年4月15日時点で入手し得る決算データはありません。このため当ファンドの状況については、該当事項はありません。

○ファンドの仕組み

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
主要投資対象	世界のハイ・イールド債券および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）に投資します。
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界のハイ・イールド債券および新興国の公社債等（国際機関債を含みます。）に投資することにより、投資信託財産の長期的な成長および高い収益の確保を目指します。 ・純資産総額の10%を超えない範囲で、公社債への直接投資の代替として、仕組債に投資することがあります。 ・投資目的および効率的な運用のため、デリバティブ取引を行うことがあります。 ・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
管 理 会 社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決 算 日	毎年2月末日
分 配 方 針	分配は2月および8月の最終営業日に行われ、翌月の11日（ファンド営業日でない場合は翌営業日）に支払われます。

(参考情報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2018年11月20日現在)

2018年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△2,181
支払利息	△2,181
(B) 信託報酬等	△ 54
(C) 当期損益金(A+B)	△2,235
(D) 前期繰越損益金	△4,040
(E) 追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
(F) 計(C+D+E)	△6,200
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△6,200
追加信託差損益金	75
(配当等相当額)	(46)
(売買損益相当額)	(29)
分配準備積立金	49
繰越損益金	△6,324

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46円)および分配準備積立金(49円)より分配対象収益は95円(1万円当たり0.39円)となりましたが、基準価額水準、市場動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。